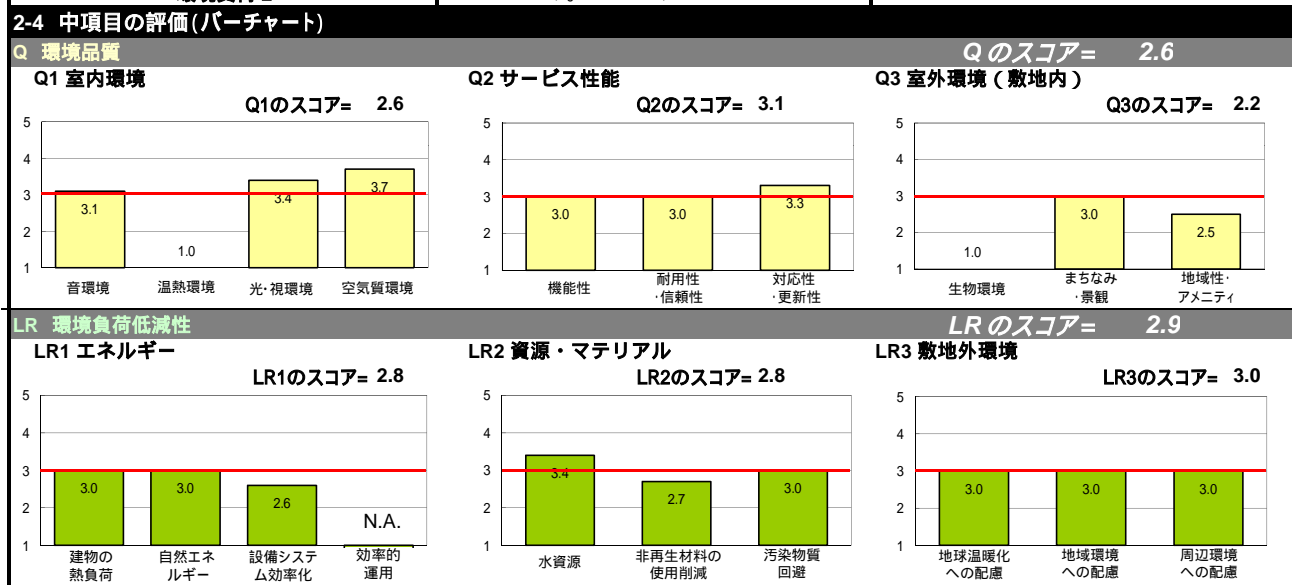
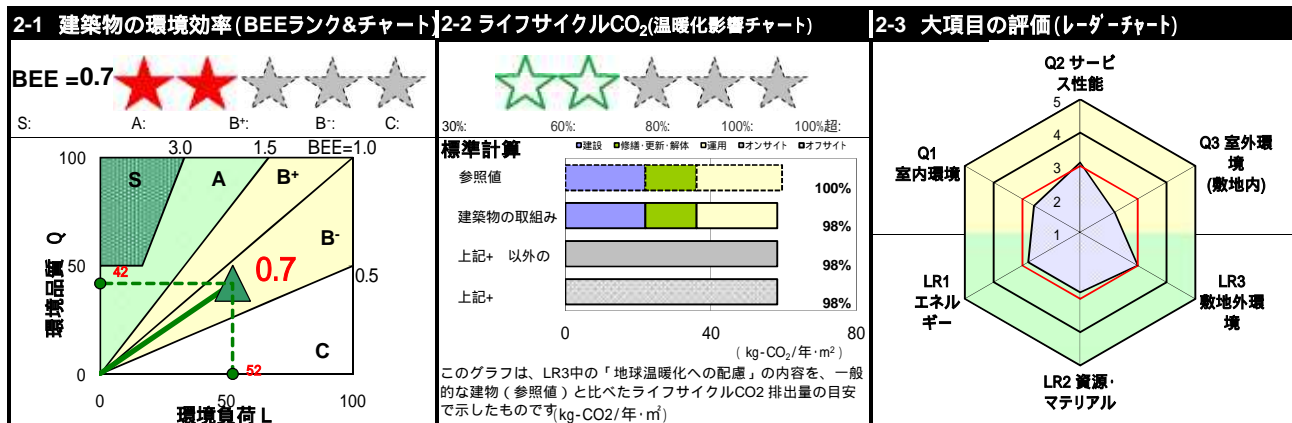
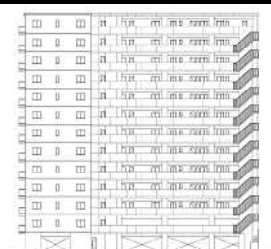


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アレス厚木市旭町新築工事	階数	地上13F、地下1F
建設地	厚木市旭町5丁目43番11号	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	276 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年8月 予定	評価の実施日	2013年2月21日
敷地面積	923 m ²	作成者	(株)西尾建築設計
建築面積	522 m ²	確認日	2013年2月21日
延床面積	5,384 m ²	確認者	(株)西尾建築設計



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
地球温暖化防止と住人が住みやすい環境の二つを補えるよう配慮した。		
Q1 室内環境 適音性能に優れたサッシュ、界壁を採用し、各住戸のプライバシーに配慮している。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い材料で、良い状態で長い間使用できる環境を提供している。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の配置や形態がまちなみに調和するように配慮している。敷地内温熱環境の緩和に寄与している。
LR1 エネルギー 建物の熱負荷を抑制している。各住戸の採光と通風を確保する配慮をしている。	LR2 資源・マテリアル 水資源の保護を積極的に採用するように努めている。また、有害物質の少ない材料を使用するよう努めている。	LR3 敷地外環境 周辺への環境負荷の拡大を防ぐよう努めている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される